



Cisco Unified Presence のインストール準備

- 「Cisco Unified Presence インストールの前提条件について」 (P.1)
- 「VMware Server に Cisco Unified Presence をインストールする際の前提条件について」 (P.5)
- 「インストール前タスクの実行」 (P.8)
- 「参考情報の入手」 (P.9)

Cisco Unified Presence インストールの前提条件について

ここでは、Cisco Unified Presence のインストールに関して最もよく寄せられる質問について説明し、ネットワークに Cisco Unified Presence をインストールする *前*に確認が必要な情報を示します。円滑に設定するには「準備チェックリスト」を使用して、インストール前に必要な情報をすべて収集してください。

関連項目

付録 A 「インストール準備チェックリスト」

- 「必要なパスワード」 (P.2)
- 「サポートされるサーバ」 (P.3)
- 「ブリッジのアップグレード」 (P.4)
- 「サポートされるブラウザ」 (P.4)
- 「ソフトウェアの制限事項」 (P.4)

必要なパスワード

Cisco Unified Presence のインストール中に、次のユーザ名とパスワードを指定する必要があります。

パスワードの種類	説明	トラブルシューティングのヒント
管理者アカウント	<p>次のインターフェイスにログインするには、管理者のユーザ ID とパスワードを作成する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Operating System の管理インターフェイス • Disaster Recovery System の管理インターフェイス • コマンドライン インターフェイス (CLI) 	<ul style="list-style-type: none"> • 管理者ログインは、先頭がアルファベットで 6 文字以上必要です。英数字、ハイフン、およびアンダースコアを使用できます。 • 管理者のパスワードを紛失してシステムにアクセスできない場合は、Cisco Unified Communications Operating System の管理ページで、管理者パスワードを復旧できます。 • 管理者パスワードのリセットが必要な場合は、CLI を使用します。必要な CLI の構文については、このガイドの付録にある「インストール準備チェックリスト」を参照してください。

パスワードの種類	説明	トラブルシューティングのヒント
アプリケーション ユーザ アカウント	Cisco Unified Presence の管理インターフェイスにログインするには、アプリケーションユーザ ID とパスワードを作成する必要があります。	アプリケーション ユーザ パスワードのリセットが必要な場合は、CLI を使用します。必要な CLI の構文については、このガイドの付録にある「インストール準備チェックリスト」を参照してください。
セキュリティ パスワード	インストールする Cisco Unified Presence サーバ用に、Cisco Unified Communications Manager からセキュリティ パスワードを取得する必要があります。 Cisco Unified Presence に設定するセキュリティ パスワードは、Cisco Unified Communications Manager Publisher サーバで使用されるパスワードと同一にする必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager のセキュリティ パスワードを紛失した場合は、Cisco Unified Communications Manager サーバでパスワードを確認できません。 • インストール後の導入ウィザードで、Cisco Unified Communications Manager セキュリティ パスワードをリセットできます。このウィザードは、Cisco Unified Presence の管理機能に初めてログインしたときに表示されます。 • Cisco Unified Presence の管理ページに初めてログインした後、Cisco Unified Communications Manager セキュリティ パスワードをリセットするには、Cisco Unified Presence の管理ページで [システム (System)] > [CUCM パブリッシャ (CUCM Publisher)] の順に選択します。

サポートされるサーバ

Cisco Unified Presence をインストールする前に、次の手順に従ってください。

- 使用するハードウェアを確認し、サーバがサポートされていることを確認する必要があります。Cisco Unified Presence のリリースをサポートしているサーバについては、次の URL にある『*Hardware and Software Compatibility Information for Cisco Unified Presence*』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/products_device_support_tables_list.html
- ネットワークで Cisco Unified Presence マルチノード機能を設定する場合は、次の URL にある『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』のマルチノード ハードウェアの推奨事項、およびインストールとアップグレード情報を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/products_installation_and_configuration_guides_list.html

ブリッジのアップグレード

Cisco Unified Presence Release 8.0 では次のハードウェアがサポートされません。

- MCS-7825-H1-IPC1
- MCS-7825-I1-IPC1
- MCS-7835-H1-IPC1
- MCS-7835-I1-IPC1
- MCS-7845-H1-IPC1
- MCS-7845-I1-IPC1

Cisco Unified Presence には、ここにリストされている製造中止となったハードウェアからサポート対象のハードウェアへの移行を希望するお客様に、ブリッジアップグレードが用意されています。ブリッジアップグレードにより、製造中止となったハードウェアに DRS バックアップを作成できるようになります。Cisco Unified Presence をサポート対象ハードウェアに新規インストールした後で、この DRS バックアップをサポート対象ハードウェアに復元できます。

ここにリストされている製造中止となったハードウェアでアップグレードしようとする、Cisco Unified Presence はインターフェイスと CLI に警告を表示します。また、Cisco Unified Presence では、サーバでの DRS バックアップの作成機能だけがサポートされていることが通知されます。

関連項目

- 『*Disaster Recovery System Administration Guide*』

サポートされるブラウザ

Cisco Unified Presence の管理ページ、Cisco Unified Serviceability、および Cisco Unified Communications Operating System の管理ページの各インターフェイスにアクセスするには、Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降あるいは Mozilla Firefox バージョン 3.0 以降を使用する必要があります。

ソフトウェアの制限事項

Cisco Unified Presence は、シスコシステムズが承認したソフトウェアだけをアップロードおよび処理できます。サードパーティの Linux または Windows ベースのソフトウェア アプリケーションを、Cisco Unified Presence にインストールしたり使用することはできません。Cisco Unified Operating System の管理ページで、有効なソフトウェアのインストールおよびアップグレードを実行してください。

VMware Server に Cisco Unified Presence をインストールする際の前提条件について

- 「VMware のソフトウェア要件」 (P.5)
- 「VMware のハードウェア要件」 (P.5)
- 「サポートされる VMware の設定」 (P.5)
- 「VMware 機能のサポート」 (P.6)
- 「VMware のライセンス要件」 (P.6)
- 「VMware インストールの例外事項」 (P.7)
- 「Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバへの移行」 (P.7)
- 「OVF テンプレートのインポート」 (P.8)

VMware のソフトウェア要件

VMware のソフトウェア要件は次のとおりです。

- Cisco Unified Presence Release 8.0
- VMware ESXi Release 4.0



(注)

VMware 上で Cisco Unified Presence を実行するには、ESX ではなく ESXi を使用するようになっています。ただし、ブレードサーバは VMware ESX クラスタの一部にすることができます。

「サポートされる VMware の設定」 (P.5) に記載されているサポート対象の VMware 仕様のいずれかを使用すると、Cisco Unified Presence Release 7.0(5) 以降から Cisco Unified Presence Release 8.0 に VMware 上でアップグレードできます。

VMware のハードウェア要件

Cisco Unified Presence は、Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバだけで VMware をサポートします。

Media Convergence Server (MCS) から Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバでの VMware 上への Cisco Unified Presence の移行に関する詳細については、「Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバへの移行」 (P.7) を参照してください。

サポートされる VMware の設定

表 1-1 に、VMware サーバ上の Cisco Unified Presence の推奨（最小）仕様を示します。

表 1-1 VMware の推奨仕様

	ユーザ	vCPU	RAM	vDisk
仕様 1 :	2500	2	4 GB	1 x 80GB
仕様 2 :	5000	4	4 GB	2 x 80GB

事前設定された仮想マシンをインポートする場合、シスコでは、事前定義された CPU 情報、ディスク情報および RAM 情報が含まれる VM 仕様ごとに、OVM テンプレートを提供しています。OVF テンプレートは Cisco.com からダウンロードする必要があります。Cisco.com の OVF テンプレートの場所については、『Release Notes for Cisco Unified Presence』を参照してください。

Cisco Unified Presence は、インストール中に、ハードウェア チェックを実行します。このチェックでは、サポートされる VMware サーバ プラットフォーム タイプを使用しているかどうかと、VMware サーバが最小仕様を満たしているかどうかを確認されます。サポートされる VMware 設定を実行していない場合、Cisco Unified Presence は、サポート対象の設定ではないことと、この設定を実働環境では使用できず、ライセンスも受けられないことを示す警告を表示します。

関連項目

- 『Release Notes for Cisco Unified Presence』
- 「OVF テンプレートのインポート」(P.8)

VMware 機能のサポート

表 1-2 に、Cisco Unified Presence の VMware 機能サポートを示します。

表 1-2 VMware 機能のサポート

VMware 機能	サポートの有無
VMotion	なし  (注) Cisco は VM の終了と、その後の別のブレードサーバでのリブートをサポートします。ブレードサーバをメンテナンス モードに設定する場合、これが役立つことがあります。
SVmotion	なし
スナップショット	なし
Data Recovery Manager	なし
Fault Tolerance	なし
Consolidated Backup	なし
ハイ アベイラビリティ	あり
Site Recovery Manager	あり  (注) このパラメータに関連付けられたすべてのサーバは、同じサーバエリア ネットワーク (SAN) に配置されている必要があります。

VMware のライセンス要件

VMware サーバで実行される Cisco Unified Presence のライセンスを取得するには、サーバのライセンス MAC 値が必要です。[Cisco Unified OS の管理 (Cisco Unified OS Administration)] > [表示 (Show)] > [システム (System)] の順に選択するか、[表示 (Show)] > [ネットワーク (Network)] の順に選択して、ライセンス MAC 値を表示します。

Cisco Unified Presence ライセンスの取得方法の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

Cisco Unified Presence 8.0 でサポートされるハードウェアへのブリッジアップグレードを実行するには、VMware の新規ライセンス MAC 値で、新規サーバおよびソフトウェアバージョンのライセンスファイルを要求する必要があります。これを実行するには、ご使用のライセンスの「rehost」を要請する電子メールを licensing@cisco.com まで送信してください。この手順の詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

関連項目

- 「ブリッジのアップグレード」(P.4)
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』

VMware インストールの例外事項

Cisco Unified Presence を VMware 仮想マシンにインストールする場合は、Cisco Unified Presence を物理サーバにインストールする場合と同じ手順に従ってください。ただし、次の例外事項があります。

- インストールに失敗すると、Cisco Unified Presence のインストール ログが VMware サーバのシリアルポートを介してファイルにダンプされます。Cisco Unified Presence のインストール ログは USB キーへはダンプできません。シリアルポートを VMware サーバに設定する必要があります。具体的には、Cisco Unified Presence が ASCII テキストをダンプできるファイルにシリアルポートをリンクする必要があります。VMware サーバの電源がオフのときに、シリアルポートを設定する必要があります。そのため、VMware サーバでこの設定を実施した後で、インストールを開始するようにしてください。
- Cisco Unified Presence は、VMware サーバでの USB テープドライブへのバックアップをサポートしません。

Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバへの移行

Cisco Unified Presence は、Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ上の VMware をサポートしています。Media Convergence Server (MCS) から Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ上の Cisco Unified Presence VMware に移行する場合、次の（高度な）手順を実行してください。

1. Cisco Unified Operating System インターフェイスを使用して、MCS サーバを Cisco Unified Presence Release 8.x にアップグレードします。このリリースに関する特定のアップグレード情報については、リリース ノートを参照してください。
2. MCS サーバで DRS バックアップを実行します。Cisco Unified Presence は、VMware サーバでの USB テープドライブへのバックアップをサポートしません。
3. OVF テンプレートをインポートして、UCS サーバに仮想マシンを作成します。
4. MCS サーバの電源を切ります。
5. Cisco Unified Presence Release 8.x を仮想マシンにインストールし、DRS の復元を実行して、MCS サーバからバックアップされたデータを Cisco Unified Presence UCS サーバ上の VMware に復元します。Cisco Unified Presence は、VMware サーバでの USB テープドライブの復元をサポートしません。
6. ライセンスの MAC 値を取得し、次に VMware サーバ用に新しいライセンスを要求します。
7. 新しいライセンスをサーバにアップロードします。
8. 無効となった元のライセンス ファイルを手動で削除し、ライセンス マネージャを再起動します。

関連項目

- 『*Release Notes for Cisco Unified Presence*』
- 『*Cisco Unified Operating System Maintenance Guide for Cisco Unified Presence*』
- 『*Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence*』
- 『*Disaster Recovery System Administration Guide*』
- 「[OVF テンプレートのインポート](#)」 (P.8)

OVF テンプレートのインポート

開始する前に

Cisco.com での OVF テンプレートの場所のリンクを取得する方法については、『*Release Notes for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco.com から CUP 2500 user v1 vmv7.ova などの OVF テンプレートをダウンロードします。
 - ステップ 2** 同じコンピュータで vSphere クライアントを実行します。
 - ステップ 3** [Hosts and Clusters] ウィンドウで、[File] > [Deploy OVF Template] の順に選択します。
 - ステップ 4** [Deploy from file] を選択します。
 - ステップ 5** CUP_2500_user_v1.0_vmv7.ova などの以前ダウンロードした OVF テンプレートを参照して選択します。
 - ステップ 6** [Next] を選択します。
 - ステップ 7** 新たに作成された仮想マシンを右クリックして [Edit Settings] を選択します。
 - ステップ 8** [Options] > [Boot Options] を選択します。
 - ステップ 9** [Force BIOS Setup] をオンにします。
 - ステップ 10** 仮想マシンの電源をオンにします。
 - ステップ 11** [Boot] メニューを選択し、CD-ROM ドライブが最初のドライブとして選択されていることを確認します。F10 を押して起動の順序保存します。
-

関連項目

- 『*Release Notes for Cisco Unified Presence*』
- 「[サポートされる VMware の設定](#)」 (P.5)

インストール前タスクの実行

開始する前に

このガイドの付録を参照してください。付録には、インストール前に収集する情報を記載した準備チェックリストや、各データ タイプをインストール後に変更可能かどうかの情報があります。このチェックリストを印刷して設定データを記入し、インストール中に参照することを推奨します。

インストール前のタスク	特記事項
ステップ 1 Cisco Unified Presence サーバが Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバにネットワーク アクセスできることを確認します。	Cisco Unified Communications Manager に、他のサーバから ping を実行します。
ステップ 2 対応する Cisco Unified Communications Manager サーバで Cisco AXL Web Service が起動していることを確認します。	Cisco Unified Serviceability で [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。
ステップ 3 DNS を使用する場合は、DNS サーバで新しい Cisco Unified Presence サーバのホスト名を設定したことを確認します。また、DNS サーバが、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバのホスト名、および他の Cisco Unified Presence サーバ（存在する場合）のホスト名を解決できることを確認します。	 <p>注意 Cisco Unified Presence と Cisco Unified Communications Manager で同じ DNS サーバを使用することを推奨します。異なる DNS サーバを使用すると、システムの動作に異常が発生する場合があります。Cisco Unified Presence でマルチノード機能を使用する場合は、DNS 設定オプションについて『<i>Deployment Guide</i>』を参照してください。</p>
ステップ 4 Cisco Unified Presence 新規インストール後に、システムはデフォルトで 90 日間の評価モードになります。Cisco Unified Presence を実稼動モード（試用版の評価期間の終了前または終了後）に移行できるようにするには、まず Cisco Unified Presence の新規インストールについて正しいサーバライセンスを取得する必要があります。サーバライセンスは、Cisco Unified Presence サーバをサポートし、Presence Engine およびプロキシサービスのサービス アクティベーションを可能にします。	<p>Cisco.com の License Generation Web ツールを使用すると、必要な単位数のライセンス ファイルを生成できます。</p> <p>Cisco Unified Presence ライセンス要件とライセンス取得の詳細については、『<i>Deployment Guide for Cisco Unified Presence</i>』を参照してください。</p>
ステップ 5 Cisco Unified Presence Release 8.0 へのアップグレードを実行するには、ソフトウェア バージョン（アップグレード）ライセンスを取得してください。 これは、Cisco Unified Presence Release 8.0 へのブリッジアップグレードを実行する場合にも当てはまります。	Cisco Unified Presence ライセンス要件とライセンス取得の詳細については、『 <i>Deployment Guide for Cisco Unified Presence</i> 』を参照してください。

関連項目

- [付録 A 「インストール準備チェックリスト」](#)
- [「ブリッジのアップグレード」 \(P.4\)](#)
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』

参考情報の入手

インストールのプロセスと前提条件についてよく理解するため、このマニュアルの内容すべてに目を通すことを強く推奨します。さらなる詳細については、次の Cisco Unified Presence に関するガイドを参照してください。

- *Cisco Unified Presence の管理ページのオンライン ヘルプ*
Cisco Unified Presence の設定、保守、および管理方法を順を追って説明します。
- 『*Hardware and Software Compatibility Information for Cisco Unified Presence*』

現在使用している Cisco Unified Presence と互換性のあるハードウェア サーバおよびソフトウェア について説明しています。

- 『*Port Usage Information for Cisco Unified Presence*』
Cisco Unified Presence リリースのポート情報について説明しています。
- 『*Changing the IP Address and Hostname for Cisco Unified Presence*』
Cisco Unified Presence サーバの IP アドレスまたはホスト名の変更手順について説明しています。
- 『*Cisco Unified Operating System Maintenance Guide for Cisco Unified Presence*』
ソフトウェアのアップグレード情報、およびオペレーティング システムやコマンドライン インターフェイスを介して利用できるユーティリティについて説明しています。
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』
Cisco Unified Presence および Cisco Unified Communications Manager の設定手順の概要について説明しています。また、Cisco Unified Presence と Microsoft Live Communications Server、Microsoft Active Directory、および Microsoft Office Communicator との統合に関する情報を記載しています。また、マルチノードでの導入に対応した戦略、および高可用性のためのシスコの推奨事項も含まれています。
- 『*Serviceability Configuration and Maintenance Guide for Cisco Unified Presence*』
Cisco Unified Presence のサービスアビリティについて説明しています。アラーム設定、トレース設定、およびその他のレポートについても順を追って説明しています。
- 『*Disaster Recovery System Administration Guide*』
バックアップの設定方法、Cisco Unified Presence データのバックアップ方法、およびデータの復元方法について説明しています。
- Cisco Unified Communications Manager の詳細については、次の URL を参照してください。
http://cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html?q=